



# 園だより

文京区立第一幼稚園  
令和6年3月号

URL <http://www.bunkyo-kyo.ed.jp/dai1-kg/>

## 伸びようとする力を信じて

園長 田村 秀子

今年は早くから紅梅、白梅が咲き始め、土の庭がよい香りで包まれました。登園した保護者が「何か、いい香りがしますね」と話していると、子供たちも「あそこにお花が咲いてるんだ」「いい匂いするね」と気付いて共感していました。朝のひととき、親子で一緒に見上げた梅の花と梅の香りが、子供たちの心にずっと残るのではないかと思いました。主事さんが高枝バサミで梅を切って生けると、梅の花を間近で見られるようになり、とても愛らしい花で感動しました。



今は沈丁花も咲き始め、これまたよい香りです。子供たちの感性が育つ、素敵な庭です。

さて、保育室には、かわいい手作りのお雛様が並び始めました。年少組は千代紙で折った着物を着た、かわいいお雛様が赤い台紙に貼ってあります。指先を使ってのりをのばすことも上手になり、顔の表情が素敵です。年中組は立体のお雛様作りに挑戦！ペーパー芯しやくに自分で描いた顔を貼り、千代紙の着物を着せて、色紙の帯を締めています。手作りの扇子や笏しやくを持って表情豊かに、赤い台紙の上に立っています。年長組はビンの体に色紙の襟をつけ、その上に布を重ねて、豪華な着物を着た、髪型もそれぞれ個性的なお雛様が出来上がってきました。玄関のひな壇には時々、「おひなさまが一人、おでかけしています」の張り紙がありました。作る時に先生が保育室に運び、子供たちが実物を見ながら作れるようにしていました。お雛様やお内裏様も、お出かけてきて嬉しかったことでしょう。

なぜか作った子供や保護者の方に顔が似ている、お内裏様とお雛様です。子供たちの作品を見ると、一人一人の頑張りや成長が思い出されます。集団の中で自信がなさそうにしていた子、大人が身の回りのことを手伝ってくれるまでずっと待っていた子、大勢の友達と遊ぶのが不安だった子、いやなことがあるといつまでも泣いたり怒ったりしていた子、苦手なことは絶対やらなかった子、友達の言葉に気持ちを向けられなかった子、皆の前では話せなかった子…たちが、今では身支度をさっさと済ませ、必要なものを出して遊び、友達に自分から関わり、思いや考えを伝え合い、皆で一緒に遊ぶことを楽しんでいます。初めてのことや苦手なことにもチャレンジしてみようとする意欲が育ってきました。人との関わり方、言葉での伝え合い、思いやりのある行動、皆が気持ちよく過ごせる行動の仕方など、目には見えにくいけれど、今後の生き方につながる大事な育ちが感じられます。

この育ちを次の成長につなげていくために、周囲の大人も子供たちの育ちを受け止めて、見守っていく姿勢が大切です。何かあるとすぐに手を差し伸べたり、声をかけたりするのではなく、子供がどう行動するか少し見守ることで、自分で考えて行動する力が育ちます。子供たちの自ら育つ力を信じて、見守っていきましょう。転んでも自分で起き上がっていること、気持ちを切り替えてまた動き始めていることなどに気付くと思います。目を離すのではなく、まなざしで「大丈夫。あなたならできるよ」という思いを伝えてあげてください。子供たちが元気に、自信をもって次のステージへと羽ばたいていけるよう、園の職員も心をこめて環境をつくり、子供たちが思い切り力を発揮できるようにして、一日一日を大切に過ごしていきたいと思います。